

## 第5回研究大会概要

(1988年度会報より)

第5回研究大会は次の通り行われた。

- (1) 日時：1988年10月21日（金）15：10～17：40  
22日（土）10：00～15：30
- (2) 場所：広島修道大学
- (3) 研究発表

統一論題報告（10月21日 15：10～17：40）

「EC会計の現状と展望」

司会：黒田 全紀（神戸大学）

- ① 伊藤田隆俊（大阪経済大学）

「フランスにおけるEC理事会指令の国内法化の現状と展望  
—とくに連結決算書に関するプラン・コンタブル・ジェネラル  
の規定を中心として—」

- ② 田中 弘（愛知学院大学）

「イギリス会計制度の現状と展望  
—コモン・ローと大陸法の融合—」

- ③ 上妻 義直（静岡県立大学）

「オランダ会計制度の現状と展望」

- ④ 興津 裕康（近畿大学）

「西ドイツにおける商法計算規定の検討」

自由論題報告（10月22日 10：00～12：30）

司会：白鳥庄之助（成城大学）

- ① 桑原 常明（湘北短期大学）

「プッシュ・ダウン会計の問題点」

- ② 榊岡源一郎（千葉商科大学）

「連結会計の新展開」

司会：榊田 圭児（公認会計士）

- ③ 井上 達男（関西学院大学）  
「外貨換算会計に関する一考察  
—FASB 基準書第 52 号の影響を中心として—」

- ④ 木村 文彦（公認会計士）  
「セグメント情報の開示について」

統一論題円卓討論会（10月22日 13:30～15:30）

座長：黒田 全紀（神戸大学）

#### 懇親会

懇親会は10月21日午後6時より広島修道大学第2食堂において脇浦則行大会委員の司会で開会された。まず、岸悦三大会委員長の挨拶、ならびに主催校を代表して広島修道大学の中川輝男商学部長の歓迎の挨拶があった。つづいて増谷裕久会長、中島省吾理事、および次回開催校の鎌田信夫理事の挨拶があり、川北博監事の乾杯の音頭で開宴した。また、染谷恭次郎理事の挨拶があり、午後8時に盛会のうちに閉会した。